

答 申 書

(案)

平成 27 年 8 月 20 日

宇都宮市上河内自治会議

目 次

はじめに	1
諮問対象事業	
(1) 道路新設改良事業	2
(2) 公共下水道整備事業	3
(3) 中学校体育館整備事業	4
(4) 生涯学習センター整備事業	5
(5) 農道整備事業	6
(6) 地域交流館整備事業	7
審議の経緯	8
上河内自治会議委員名簿	9
終了した事業	
・ 上水道事業統合整備（平成25年度で整備完了）	
・ 児童の健全育成環境の整備（平成25年度で整備完了）	
・ 中学校校舎整備事業（平成25年度で整備完了）	
・ 農産物直売所等整備事業（平成25年度で整備完了）	
・ 中里原土地区画整理事業（平成23年度で整備完了）	
・ スマートIC恒久設置事業（平成22年度で整備完了）	
・ 林道整備事業（平成21年度で整備完了）	

はじめに

上河内自治会議は、毎年度、宇都宮市長の諮問に応じ、合併市町村基本計画の執行状況について意見を取りまとめ、答申を行っております。

合併市町村基本計画主要施策13事業の執行状況につきましては、平成25年度までに中学校校舎整備事業や中里原土地区画整理事業を含め、過半の7事業が完了するなど着実に整備が進められてきております。

合併後8年が経過し、自治会議の設置期間が残り2年となる本年度は、平成26年度以降における各種事業の取り組みについて検討を重ねてまいりました。このような中、すでに上河内中学校体育館の耐震補強工事が完了し、生涯学習センター整備事業も、「人づくりとまちづくりの拠点」としての機能をより充実できるよう、上河内地域自治センターとの一体的整備事業として、本年10月着工、平成28年度中の供用開始に向け、順調に準備が進められております。

また、公共下水道整備や農道舗装工事についても、毎年度計画的に整備されるなど、主要施策事業が着実に進捗しているものと考えております。

一方、道路新設改良事業のうち、工事が中断している路線につきましては、上河内地域の生活基盤の整備に関わる重要な事業でありますことから、一日も早い整備完了を期待します。併せて、地域交流館整備事業についても、ネットワーク型コンパクトシティの地域拠点施設として、これまでの着実な進捗状況を踏まえつつ、ハード・ソフト両面にわたる更なる充実を望みます。

上河内自治会議としては、今後とも、本答申を基に、合併市町村基本計画に掲げられた各事業の早期完了と併せて地域のまちづくりを推進していくことで、「自然と人が共生し安心して暮らせる活力あふれる地域」となることを強く願うものです。

1 道路新設改良事業

(進捗状況)

- ・市道10111号線については、平成21年度に一部整備が完了しており、未完了の部分については、県道の拡幅工事に合わせて改良工事を行う予定です。
- ・市道13125号線については、整備完了に向け、引き続き、用地交渉を行っています。
- ・市道13045号線、市道13047号線については、平成23年度に整備が完了しました。

<執行状況>

路線名		進捗状況	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
事業内容	市道10111号線	一部未完了	—	—	—
	市道13125号線	整備中	用地交渉	用地交渉	用地交渉
	市道13045号線・ 市道13047号線	整備完了			
	市道13127号線	未着手	—	—	—

(意見)

・市道10111号線

一部未完了部分については、県道の拡幅工事に併せて整備予定になっておりますが、安全性を確保するため、県道整備の早期実施の働きかけを望みます。

・市道13125号線

一部の用地取得等の課題もあり、工事が中断しておりますが、生活道路として利便性の向上を図るため、路線位置の変更も視野に、早期の整備を望みます。

・市道13127号線

周辺の土地利用計画の変更などにより、必要性が薄れてきております。

今後においては、周辺の居住環境など状況の変化に応じて、全市的な道路整備計画の中で優先的に整備されるよう望みます。

・地域内道路網の整備にあたっては、地域の活力をさらに高めるため、維持修繕を含め計画的に整備されることを望みます。

2 公共下水道整備事業

(進捗状況)

上河内地域内の事業認可区域面積（248.2ha）に対する進捗率は70.3%となり、計画的どおりに整備を行っています。

< 執行状況 >

	平成25年度	平成26年度	平成27年度（予定）
事業内容	公共下水道 污水管渠築造工事	公共下水道 污水管渠築造工事	公共下水道 污水管渠築造工事
	特定環境保全公共下水道 污水管渠築造工事	特定環境保全公共下水道 污水管渠築造工事	特定環境保全公共下水道 污水管渠築造工事
実績	6.2ha	1.0ha	4.0ha
実績累計	173.4ha	174.4ha	178.4ha
進捗率	69.9%	70.3%	71.9%

(意見)

地域の生活環境の向上や自然環境の保全を図るため、一日も早い公共下水道の整備完了を望みます。

また、公共下水道への接続率を高めるため、PR活動を充実させるとともに、公共下水道認可区域外に対する合併処理浄化槽設置の推進など、地域全体としての環境保全に繋げていくことが必要です。

3 中学校体育館整備事業

(進捗状況)

より安全で、快適な教育環境を確保するため、平成26年7月に耐震補強工事に着工し、11月に完了しており、学校はもとより、地域開放施設として利用されております。

<執行状況>

	平成19年度から平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業内容	・上河内中学校体育館耐震2次診断(平成21年度)	・上河内中学校体育館耐震補強工事実施設計委託	・上河内中学校体育館耐震補強工事
	・上河内中学校武道場新築実施設計(平成21年度) ・上河内中学校武道場新築工事(平成22年度)		

(意見)

計画どおり、平成26年11月に耐震補強工事が完了しましたが、今後とも、定期的に施設の点検を行い、生徒や施設利用者がより安全で快適な利用ができるよう望みます。

4 生涯学習センター整備事業

(進捗状況)

地域のまちづくりの拠点としての機能を十分に発揮できるよう、まちづくりと人づくりの一体的推進を図るため、上河内地域自治センター、上河内生涯学習センターとの一体的整備を行うための実施設計が完了しました。

< 執行状況 >

	平成19年度から平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
事業内容	地元住民による上河内地区拠点施設整備検討委員会との意見交換を行いながら、生涯学習センター及び地域自治センターの一体的な整備に向けて具体的な整備内容について検討(平成25年度)	地元住民による上河内地区拠点施設整備検討委員会から提出された検討報告書も参考にしながら、上河内民俗資料館との合築による上河内地域自治センター・上河内生涯学習センター改修の実施設計を実施	上河内民俗資料館との合築による上河内地域自治センター・上河内生涯学習センター改修工事

(意見)

人づくりと地域のまちづくりの拠点として、上河内生涯学習センターと上河内地域自治センターの一体的な整備事業として、平成28年度中の供用開始に向け、今年度着手する予定となっておりますが、駐車場の確保を含め、拠点施設として利用しやすい施設となるよう早い時期の完成を望みます。

5 農道整備事業

(進捗状況)

地域住民の社会生活環境の改善を図るため、毎年度、一定額を予算化し、計画的に農道舗装工事を行っています。

< 執行状況 >

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
事業内容	農道舗装工事	農道舗装工事	農道舗装工事
実績	882.8m	678.3m	525.0m
実績累計	8,621.1m	9,299.4m	9,824.4m

(意見)

上河内地域の主要な産業である農業の生産性をサポートするうえで大変重要であり、これまで順調に整備が進められております。

なお、整備に際しては、土地改良区のほか、地域農業者からの多様な意見なども踏まえ、引き続き計画的な整備を望みます。

6 地域交流館整備事業

(進捗状況)

市民の交流拠点としてのサービスの向上や運営の円滑化を図るため、指定管理者と連携しながら、ホテル観察会を実施するなど、地域資源を活かした事業の充実や交流人口の増加に努めるとともに、施設の維持修繕を計画的に行っております。

< 執行状況 >

	平成25年度	平成26年度	平成27年度(予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者や地域団体等が主体的に実施する各種交流事業(ホテル観察会等)を支援 ・施設の維持修繕(各種ポンプ類改修工事、洗い場サーモ付シャワー取替工事等) ・施設の有効活用に向けた検討(指定管理者との意見交換など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者や地域団体等が主体的に実施する各種交流事業(ホテル観察会・農作業体験等)を支援 ・施設の維持修繕(温泉用深井戸水中ポンプその他改修工事等) ・施設の有効活用に向けた検討(指定管理者との意見交換など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の提案による新たな事業や、地域団体が主体的に実施する各種交流事業の支援 ・施設の維持修繕(塗装改修工事等) ・施設整備のあり方検討(施設の長寿命化に向けた検討) ・自転車等を活用したイベントなど、施設や地域資源を活用した誘客促進事業の推進

(意見)

上河内地域におけるにぎわいの創出や市民等の交流の拠点施設として、今後とも継続運営していく必要があります。

このため、市民や利用者の声を反映した交流事業の展開や、自転車等を活用したイベントの開催など、施設や地域資源を活かした多様な誘客促進事業を推進し、交流人口の更なる増加を図る必要があります。

また、施設の長寿命化に向けた維持修繕や利用者ニーズに対応した温泉施設の充実(足湯の設置など)を望みます。

～ 審議の経緯 ～

- 平成27年 4月16日 第1回宇都宮市上河内自治会議
- ・市長から「合併市町村基本計画の執行状況」について諮問
 - ・合併市町村基本計画の執行状況について説明（諮問対象事業の進捗状況について）
- 平成27年 5月25日 第2回宇都宮市上河内自治会議
- ・合併市町村基本計画の執行状況について審議（答申書[素案]について）
- 平成27年 6月29日 第3回宇都宮市上河内自治会議
- ・合併市町村基本計画の執行状況について審議（答申書[案]について）
- 平成27年 7月23日 第4回宇都宮市上河内自治会議
- ・合併市町村基本計画の執行状況について審議（答申書[案]について・答申書確定）

～ 上河内自治会議委員名簿 ～

会 長	太 田	正
副会長	神 山	光 男
委 員	束 原	和 勸
委 員	山 口	昭 子
委 員	川 津	榮 夫
委 員	高 橋	典 一
委 員	大 越	幸 夫
委 員	北 見	志 津
委 員	笹 沼	良 子
委 員	長谷川	脩 身
委 員	江 連	敏 正
委 員	石 川	典 男
委 員	鈴 木	政 一
委 員	金 田	倫 俊
委 員	渡 邊	秀 子
委 員	田 邊	恭 子
委 員	長 嶋	子 修
委 員	君 嶋	茂 子
委 員	福 嶋	
委 員	藤 枝	